

環境省は25日、佐渡市で放鳥された5歳雄と3歳雌のペアが産卵した可

能性が高いと発表した。卵が確認されれば今年初め、順調にいけば4月下旬となる。産卵からふ化ま

でに28日ほどかかるた

め、37年ぶりとなる。

自然界でふ化すれば35年ぶり、ひなが巣立てば37年ぶりとなる。

放鳥トキ産卵の可能性

今年初、5歳と3歳ペア



産卵したとみられる5歳雄（上）とう歳雌のペア
|| 25日、佐渡市（環境省提供）

24日午後5時すぎに産卵したとみられ、25日は雄と雌が交代して巣に座り、卵を抱くような様子が頻繁に見られた。

このペアは昨年も産卵しており、環境省佐渡自然保護官事務所の長田啓首席自然保護官は「昨年の経験が生かせるといい。注意深く見守りたい」としている。

また、別の5歳雄と3歳雌が19日に営巣を始めたことも確認された。今回産卵した可能性が高いペアを含めて4組目となる。この2羽も昨年、ペアになり産卵している。

一方、新潟市西蒲区にいた2次放鳥の6歳雌は20日以降、佐渡市内でのトキと行動していることが確認された。